

出前講座のご案内

「災害時における高齢者への生活支援」

講師 日本赤十字社愛媛県支部 指導員



平成28年4月に起きた熊本の大地震では、多くの家屋が倒壊し、住居を失った多くの人々が避難所での不自由な生活を余儀なくされました。このようなことが身近に起こったら、私たちに何が出来るのでしょうか？

愛媛県在宅介護研修センターでは、「災害時における高齢者への生活支援」と題した研修を企画いたしました。災害によって不自由な避難生活を送らなければならない場合の、高齢者及びその家族や地域の人々の“こころ”と“からだ”のケアについて、この研修を通じて学んでいただきたいと思います。

実際に災害が起きた場合に、高齢者が避難生活を送ることになる公民館などの公共施設は、どれだけの機能を持ち合わせているか？ 日頃から準備しておいたほうが良いものは何か？ など、いざという時のために、今！学んでおきましょう!!

当研修センターには、地域の皆さんが集まって学べる「出前講座」という制度があります。この「出前講座」を利用して、ぜひ公民館や自治会単位で「災害時における高齢者への生活支援」をテーマに地域の災害対策の勉強会を開いてください。当センターの「出前講座」をご利用いただければ、講師にお支払する講師料・交通費などの必要はありません。

下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

“みんなで学ぼう介護のいろは”

<お問い合わせ先>

愛媛県在宅介護研修センター

(愛称：愛ケア)

TEL：089-914-0721

FAX：089-914-0732

(ホームページ) <http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo/>

金田 由美子 センター長 による

すぐに役立つ介護講座 全5回シリーズ

① ～ 介護とは何か ～

介護が必要になったとき、どのような介護に出会うかで、それからの生活が大きく変わります。「寝たきり」をつくらない介護を学びましょう。



② ～ 残った機能と失った機能 ～

脳卒中の後遺症で片マヒになった方には、手足のマヒの他に目に見えない不自由さがあります。残った機能を活かして暮らす介護をするときの、参考にして下さい。



③ ～ 認知症高齢者のケア ～

認知症の介護は、まず認知症を理解することから始まります。何もかも分からなくなってしまったという誤解が、認知症の方の混乱を招く場合もあるからです。



④ ～ 生活リハビリとは何か ～

出来なくなったことを数えないで、出来ることを数えましょう。介護の役割は、残った機能が使える条件を整えることです。「生活行為に優る訓練なし」がスローガンです。



⑤ ～ 起きる・座る・立ち上がる【実技】 ～

残された機能が活きる動きとは、どのような動きか？ またそのように介護するにはどうすればいいかを、「人の動き」をもとに伝えます。介護の教科書は、自分の体にあります。



【出前講座に伺います】

この連続講座は、少しでも良い介護について知って頂きたいと思って企画しております。

平成27年度は、在宅介護研修センターで①～⑤を繰り返し5回行いました。これからは、出来るだけ県内各地で行いたいと思っております。

公民館や介護事業所などの場所をお借りして行いますので、ぜひ企画して声を掛けて下さい。もちろん出前講座なので、講師料・交通費などは必要ありません。5回では多すぎるようなら、テーマを選んで2回～3回シリーズとして行う方法もあります。ご検討下さい。